

第59回 徳島県高等学校総合体育大会 陸上競技大会

競 技 注 意 事 項

＜鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスエットスタジアム(鳴門総合運動公園陸上競技場)＞

1. 競技規則について

本大会は、2019 年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

- (1) 練習は、指定された練習場所を使用する。補助競技場では、トラック競技・跳躍競技および砲丸投げの練習を行うことができる。＜必ず顧問教諭が立ち会うこと＞
- (2) 競技場内での練習は審判員の指示に従う。投てきの練習には特に安全に注意して行うこと。
雨天練習場の使用について・・・○走る方向は反時計回り同一方向とする。
○ハードルは使用できない。

3. 招集について

- (1) 競技者招集所は、補助競技場倉庫内に設ける。
- (2) 招集時刻は競技時刻を基準とし、下記のとおりとする。(すべて競技開始時刻を基準とする)

種 目	予 選		決 勝	
	招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動開始)	招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動開始)
ト ラ ッ ク	30 分前	20 分前	25 分前	15 分前
フ ィ ー ル ド			40 分前	30 分前
棒 高 跳			60 分前(現地召集)	
混 成 競 技			25 分前	20 分前

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。

(4) 招集の手順

- ① 競技者は招集開始時刻までに、招集所競技者控所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にナンバーカード・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。
- ② 混成競技は第1日目・第2日目とも第1種目は競技者係が招集所にて招集するが、それ以降の種目については、現地集合とする。(混成競技控え場所は「本競技場1F 雨天練習室」とする)
- ③ 競技者控所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
- ④ 代理人による点呼は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所の競技者係に2種目同時出場届を提出する。
- ⑤ リレー競技に出場するチームは、その種目(第1組目)の招集完了時刻の1時間前までに競技者招集所に用意しているオーダー用紙にオーダーを記入し、1枚提出すること。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらず、オーダー用紙にオーダーを記入し、その種目(第1組目)の招集完了時刻の1時間前までに提出すること。
- ⑥ 棒高跳の点呼は競技場所で行う。点呼終了後は公式練習に入る。
- ⑦ 欠場する場合は、招集開始時刻までに招集所の競技者係に欠場届を必ず提出すること。

4. 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外グラウンド(競技区域)内に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。
- (4) トラック競技(セパレート種目)において、8名(8チーム)以内の場合は2～9レーン、9名(9チーム)の場合は1～9レーンで行う。
- (5) トラック競技の計測は、全て写真判定装置(全自動電気計時 1/100)で行う。
- (6) 4×100m リレーの第2・第3・第4走者は、チームで用意した目印用テープ(1 カ所)を置くことができる。
- (7) 4×400m リレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。コーナートップとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、テークオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。
- (8) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを、2カ所置くことができる。マークはそれぞれの審判員が現地で渡す。それ以外は使用してはならない。
- (9) 携帯電話等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (10) 競技中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表さ

れてから30分以内に、次のラウンドが行なわれる種目では15分以内に、当該競技者自身または、顧問が口頭で審判長に申し出ること。

(11) スタートについては、2019 年度ルールに準ずる。

5. 競技用シューズについて

スパイクの長さは9mm をこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は12mm をこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が4mm 以内でなければならない。また、スパイクの数は11本以内であれば何本でもよい。

6. ナンバーカードについて

ナンバーカードは指定された大きさ(縦20cm×横24cm)で、ユニフォームの胸部と背部に付けること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。またトラック競技者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの右後方に付けること。

7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

陸上競技ルールブック2019「競技会における広告および展示物に関する規定」の通りとする。

以下「抜粋」

(1) 上半身の衣類

a) ウインドブレーカー・T シャツ・トレーナー類

製造会社名／ロゴ: 右胸または左胸1箇所

文字の高さ4cm 以内、トータルのロゴの高さ5cm 以内で40cm²以内の長方形。

b) ランニングベスト・レオタード

製造会社名／ロゴ: 右胸または左胸1箇所

文字の高さ4cm 以内、トータルのロゴの高さ5cm 以内で30cm²以内の長方形。

(2) 下半身の衣類

製造会社名／ロゴ: 1箇所

文字の高さ4cm 以内、面積20cm²以内。

(3) ソックス

製造会社名／ロゴ: 1箇所 高さ3cm以内、面積6cm²以内。

(4) バック

製造会社名／ロゴ: 2箇所 面積25cm²以内。

(5) その他の衣類(帽子・サングラス・手袋など)

1つにつき1箇所: 面積6cm²以内。メガネ・サングラスなどは2ヵ所まで表示することができる。

(6) 商標違反時の対応

着替えさせる(裏返しに着させる)・テープを貼って隠す。

8. 競技の抽選ならびに番組編成について

(1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。

(2) トラック競技の決勝については、主催者が公平に組み、レース順を決定する。その結果を記録掲示板に掲示する。

(3) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレーまたは、他の競技種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち、少なくとも 2 人は当該リレー種目に申し込んだメンバーでなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2 人以内に限り、他の競技者と交代することができる。

また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。

(4) トラック競技においてプラス出場者を決める場合、その最下位で同タイムがでた場合、(以下同タイム者という)は下記の方法で決める。

①100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR 競技の場合

同タイム者については、判定写真を拡大し、細部まで読取り、着差の判定をする。それでも判定できないときは同タイム者、または代理人によって抽選する。〈+1 名(組)の場合は、9 名で次のラウンドに進む〉

②①以外の種目の場合

同タイム者については、すべて次のラウンドに進めることとする。

(5) トラック競技決勝(セパレート種目)の優先レーンは4, 5, 6, 7レーンとする。

9. 競技用具について

(1) 競技に使用する用具は全て主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。ポールの検査は点呼時に跳躍審判員が行う。

(2) 練習用として個人の用具は主競技場に持ち込んで서는ならない。

10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

走高跳	男子	1m40 または 1m70(練習)	1m40 ～ 1m75	までは 5cm	以降 3cm
	女子	1m20 または 1m45(練習)	1m20 ～ 1m50	までは 5cm	以降 3cm
棒高跳	男子	2m00 または 3m60(練習)	2m00 ～ 3m60	までは 20cm	以降 10cm
	女子	1m60 または 2m20(練習)	1m60 ～		以降 10cm

(1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。

(2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm 単位とする。尚、四国大会出場決定のためこの他の順位決定も行う場合がある。

11. 混成競技におけるバーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。但し、状況により変更する場合がある。設定より低い高さを希望する場合は練習開始前に申し出ること。(但し、男子 1m50、女子 1m20 までのバーの上げ方は 5cm 刻みとする)

男子8種	1m45(練習)1m50 1m55 1m60 1m65	以降 3cm
女子7種	1m15(練習)1m25 1m30 1m35 1m40	以降 3cm

12. 競技場の入退場について

(1) トラック競技の競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。

(2) フィールド競技の競技者は係員の指示に従って入退場する。但し、棒高跳の選手は各自で入場する。

(3) フィールド競技の入賞者は当該審判員が、トラック競技の入賞者は係員が表彰者控場所に誘導する。

13. 表彰およびインタビューについて

(1) 各種目第3位までの入賞者はユニフォームで表彰を受けること。その際入賞者は決勝終了後すぐに入賞者控場所で待機し、係員の指示を受けること。

(2) 入賞者のインタビューは、入賞者控場所で行う。

(3) 男子・女子それぞれ最優秀選手の表彰を行う。

14. 競歩競技について

競技進行上、以下の時間内に最終周に入れない場合はその時点で失格とする。

男子 5000mW・・・33 分 00 秒 女子 5000mW・・・40 分 00 秒

15. その他

(1) 大会期間中競技場で発生した傷害や疾病はメインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

(2) 更衣は補助競技場の更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。

(3) 記録証の交付を希望する競技者は、陸上競技場本部の記録証交付係に記録証交付願及び交付料金500円を添えて申し込むこと。

(4) 記録は正面玄関2Fの記録掲示板に掲示する。

(5) 競技場内でテントを張れる場所はバックスタンドの中央通路より上の場所に限る。横断幕(のぼり等)についてはサイド・バックスタンド最上段フェンスへの設置は認める。ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。

(6) その他、詳細については事前監督会議で説明する。

(7) 届け出用紙は以下の場所に用意してある。

2種目同時出場申請書・欠場届・リレーオーダー用紙・・・招集所競技者控え室内(補助競技場倉庫内)
記録証明書交付願・抗議申立書・・・・・・・・・・・・本部(主競技場1F 第3会議室)

(8) 選手の変更について

選手の変更は補欠登録している選手からのみ変更できる。

変更する場合は該当競技のある日の最初の競技種目開始時間の1時間前までに巻末の選手変更届を第一会議室まで提出すること。遅れた場合は受け付けない。

選手変更された選手は大会期間中、選手変更された種目以降の競技への出場はできない。

(9) 優秀選手について

①今大会記録が、昨年度の全国高校ランキングで20位以内に相当する選手から選考する。

②①の該当者がいない場合には優勝校から選出する。

(10) 昨年度優勝校にはレプリカを与える。連続優勝については5・10年で表彰する。5年以上10年に達しない場合にも表彰し偉業を讃える。

16. 長距離種目の番組編成について

・5000m について、出場者が 30 名を超えない場合は決勝のみとする。

・1500mを超える競技において、その組の出場者の半分を超える選手が次のラウンドに進む場合は、そのラウンドを行わない。